

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年3月4日～2017年3月10日の推移】

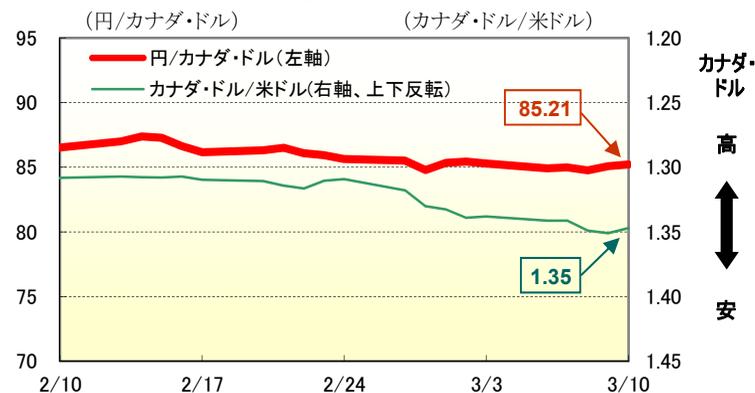
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場はおおむね横ばいとなる一方で、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

米国の雇用統計やカナダの雇用者数が市場予想を上回る堅調な結果となったことで、カナダの金利は上昇しました。また、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が欧州景気の改善から金融緩和姿勢を後退させ、欧州金利が上昇したことも、カナダの金利の上昇要因となりました。

為替市場については、カナダの経済指標が良好な結果となったことはカナダ・ドルの上昇要因となりましたが、原油価格が下落したことが下押し材料となり、カナダ・ドル円相場はおおむね横ばいとなりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年2月10日～2017年3月10日)



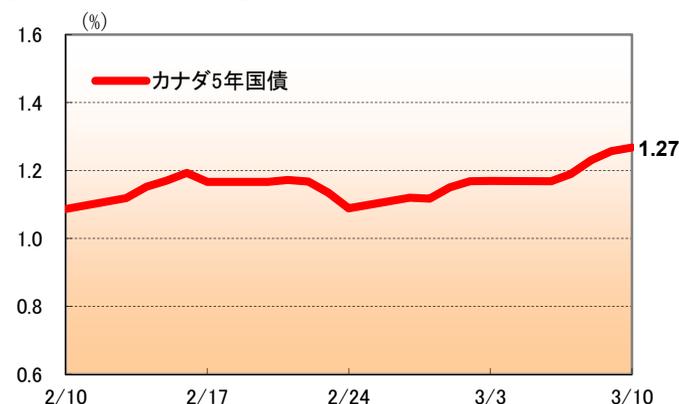
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、米国でFOMC(米国連邦公開市場委員会)、日本では日銀の金融政策決定会合が開催されます。FOMCでは利上げが確実視されていますが、今後の政策金利の見通しが上方修正された場合には、金利上昇および円安の材料につながりそうです。日銀の金融政策決定会合は現状の金融政策が維持される見込みで、市場への影響は大きくないとみています。

また、米国のトランプ大統領が予算教書を議会に提出する可能性があり、減税や財政政策の詳細に注目が集まりそうです。その他、G20(主要20カ国・地域)財務相・中央銀行総裁会議での為替に関する議論やオランダの総選挙にも注目です。

【カナダ 金利推移】 (2017年2月10日～2017年3月10日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/7	毎月	2017年1月	貿易収支(実額)	8.1億カナダ・ドル	4.5億カナダ・ドル
3/10	毎月	2017年2月	雇用者数(前月差)	15.3千人	48.3千人

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>